

令和8年度 大石田町立大石田南小学校の経営方針

1 学校教育目標

心豊かでたくましく未来を創る子どもの育成

2 めざす子ども像

- (1) **み**ずから学ぶ子ども 【学力】
＜主体性 思考力・判断力・表現力＞
- (2) **な**かよくくらす子ども 【社会力】
＜多様性や個性の尊重 地域郷土愛＞
- (3) **み**んな元気な子ども 【人間力】
＜健康 粘り強さ＞

3 めざす学校像（児童会スローガンより）

「心ひとつに笑顔ひろがる南小 あいさつ・思いやり・チャレンジ」
＜みんなで考え 進んで行動 喜びの共有 学力の育成＞

4 めざす教師像

「広い視野と高い志を持ち、学び続ける教師」
＜教育愛 向上心 責任と協働＞

5 学校経営方針（安心・安全 主体性・協働性 郷土愛）

- (1) 安心・安全が保たれ、教育効果を促進する環境づくりと授業改善に努め、確かな学力を育む。
- (2) 深い児童理解と生徒指導を土台とする集団づくりを通して、主体性と協働性を育む。
- (3) 地域の特色や願いを取り入れた交流・体験活動を推進し、郷土愛を育む。
- (4) 職員個々のよさや強みを生かし、共に教育課題に取り組み、教育目標の具現化に努める。

6 経営の重点

- (1) 主体的に学ぶ力の育成（みずから学ぶ）
- (2) 協働する力の育成（なかよくくらす）
- (3) 心身の健康とたくましさの育成（みんな元気）

7 重点の具現化のために

(1) 主体的に学ぶ力の育成【みずから学ぶ子ども】

① 学校生活全体を学びの場ととらえた教育活動の推進

- * 子ども主体の学校行事創り。
- * 自由清掃の工夫と推進。

② 校内研究の推進

- * 研究テーマ「主体的に学び続ける子どもの育成～一人一人が学ぶ楽しさを実感できる算数の授業づくりを通して～」に基づく校内研究の充実
- * 算数の教材分析を充実させた授業づくりと指導法の工夫。

③ 道徳指導

- * 特別の教科道徳の確実な実施と個別の成長の蓄積。
- * 課題を自分事にする活動の工夫。
- * 「考え、議論する道徳」と「考え、実践する特活」との明確な棲み分けによる指導。

④ 探究学習の授業づくり

- * 自分ごととなる課題の設定、教科や単元の本質にせまる指導の工夫、まとめ・振り返りの充実。
- * 習得・活用・探究の過程をバランスよく取り入れた単元・授業づくり。
- * 生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受・共感的な人間関係・自己決定の場の提供・安心安全な風土の醸成）を取り入れた授業づくり。
- * ICT活用による授業（一斉・個別・協働）づくりの充実。
- * 授業とつながる家庭学習の工夫と基礎基本の確実な習得。

⑤ 主体的な読書活動の工夫と推進

- * 一人一人が楽しんで読書に取り組む環境づくりや家庭との連携。
- * 児童委員会と連動する工夫した読書活動づくり。
- * 情操を育む多様な読み聞かせ会や昔語り等の実施。

(2) 協働する力の育成【なかよくくらす子ども】

① 生徒指導を土台とする集団づくり

- * 「学校文化創りの主役は子どもたち」の共通理解に立ち、生徒指導の4つの視点を土台とする集団づくりを通じた児童の主体性・協働性の育成。
- * 受容と共感に基づいた子どもへの対応と、傾聴的態度を基盤にした保護者との対応と連携。

② 仲間や地域とつながる交流・体験活動の推進

- * 学校運営協議会や地域学校協働本部との連携。
- * 地域の教育資源を活用し、大石田の自然や産業、歴史への理解を深める体験・交流活動の充実。
- * 児童会活動を通して、自分たちの学校生活をよりよく豊かにする活動の実践。
- * 集会や行事等での縦割り班活動によるかかわりあい。
- * 学校だよりや各種たよりの定期的な発行や学校HP等による地域及び保護者への教育活動の発信。

③保小中連携の充実

- * 令和9年度の統合を見据えたサンサンスタディでの交流活動の充実。
- * 小中一貫校を意識した小中連携の活動の推進。(子どもサミット等)
- * 架け橋プログラムに基づく保小連携。

④教育支援・教育相談活動の充実

- * Q U調査やいじめアンケート、心のアンケートを活かした不登校や問題行動等の未然防止と早期発見、組織的対応の徹底。
- * 個別の指導計画・教育支援計画の作成と活用による切れ目ない教育支援。
- * 個々の現状把握と支援方針の共通理解、継続的な関係者(保護者)面談、ケース会議の実施。

(3) 心身の健康とたくましさの育成【みんな元気な子ども】

①いのちの教育の推進

- * 「いのちの教育」構想図に基づいた実践。
- * 緊急時の対応マニュアルの徹底と防災訓練の実施。
- * 見守り隊との連携、校外子ども会や定期的なスクールバス乗車による登下校指導に基づく児童の安全意識や判断力の向上。

②健康的な生活習慣づくり

- * 早寝早起き朝ご飯、南っ子家族会議とメディアコントロール等による基本的な生活習慣の確立。
- * 栄養教諭と連携した食育指導や計画的な保健学習の実施。
- * 感染症予防や熱中症予防等、子ども自ら健康や安全を意識できる環境づくり。

③教科体育を核とした体力・運動能力向上

- * できる喜びを味わい、元気いっぱい体を動かす子どもを育てる体育授業の実践。
- * めあてを持って運動し、体力・運動能力向上を図る取り組み。
- * 運動の日常化に向けた取り組みと環境整備。

④校内外の積極的な生徒指導の充実

- * 常態的・先行的生徒指導(発達支持的生徒指導・課題未然防止教育)の重視。
- * 安全パトロールだよりに基づいた危険箇所の確認発信、予測指導。
- * 学童等関係各所と連携した迅速な対応指導。